

敵基地攻撃能力は、戦争への危機！
大軍拡・大增税NO！軍拡財源法NO！
5月「19の日」行動



岸田内閣は維新や国民民主などの援護を受け、野党共闘の分断などで、悪政への正面からの論議をかわし、統一地方選挙を乗り切りました。

しかし、円高・物価高騰、年金の減額・高齢者医療の負担増などで、国民の命と生活の危機には何ら変わりはありません。このような中、敵基地攻撃の可能なミサイルの爆買いなどで軍事費を増大させ、危険な基地や施設を舞鶴・丹後・祝園など、京都の各地に点在させようとしています。マスコミがこの事実をまともに報道しないため、国民に真実は十分伝っていません。また、戦争準備への道を突き進む政府は「軍拡財源確保法」「軍需産業支援法」「原発推進法」「マイナンバー法」「入管法改定」などを一気に今国会で通過させようとし、自民・公明の与党だけでなく、維新や国民民主がこれを後押しして、一気に通過させようとしています。

みんなで大軍拡反対、憲法9条守れの声をあげましょう。集団的自衛権を容認せず戦争準備の法案の危険性を訴えましょう。「大軍拡・大增税NO！」の署名と対話に取り組みましょう。19日には多くの仲間と声を上げましょう。

とき **5月19日(金)**

午後6時30分～ 街頭演説

午後7時00分～ デモ出発

ところ 京都市役所前(御池通側歩道)

呼びかけ 安保法制廃止をめざす市民アクション@京都